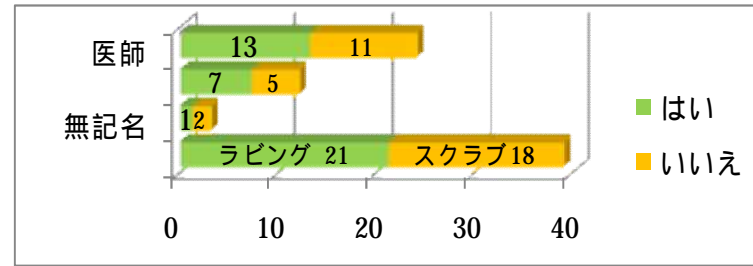


ラビング法導入後アンケート結果のお知らせ

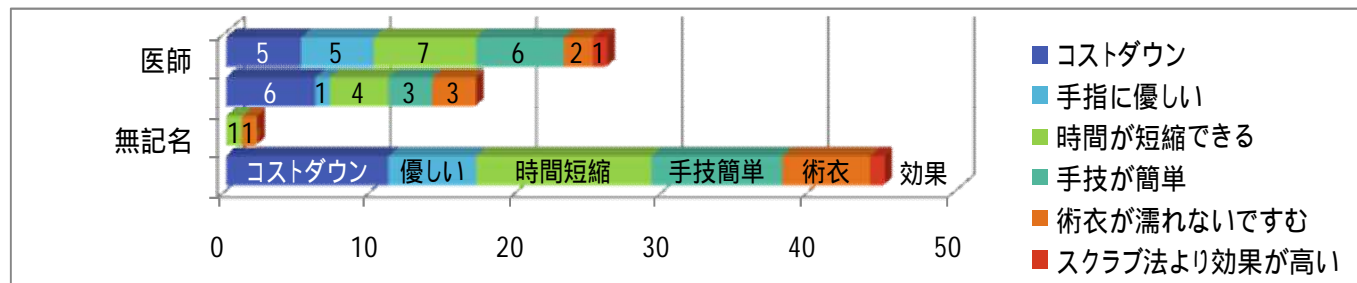


1. 手術手洗いをラビング法に切り替えた

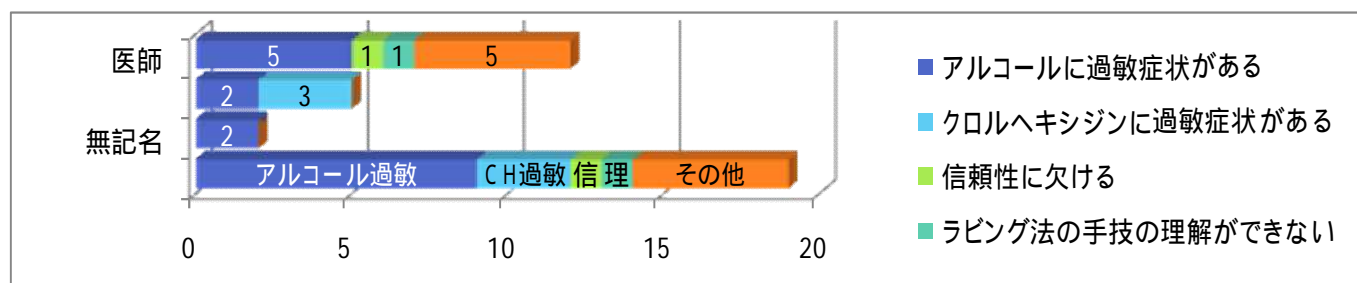
質問内容	医師	看護師	無記名	合計
はい	13	7	1	21
いいえ	11	5	2	18
合計	24	12	3	39



2. 1で はいと回答された方にお伺いします。ラビング法の利点は何と思われますか？複数回答可

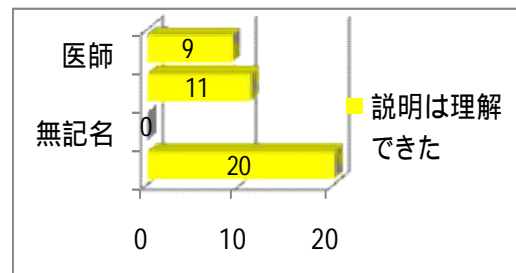


3. 1で いいえと回答された方にお伺いします。切り替えなかった理由は何ですか？

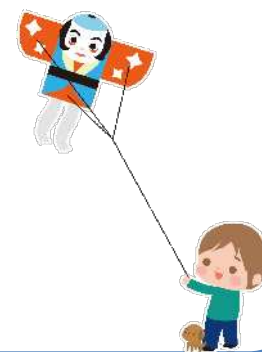
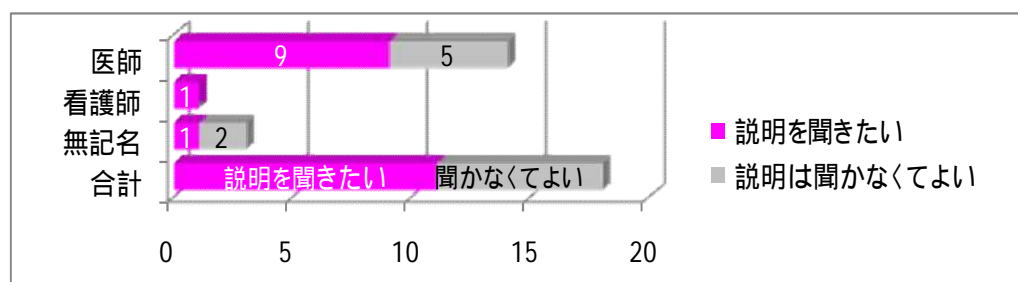


4. ラビング法の説明会に参加された方にお伺いします。

質問内容	医師	看護師	無記名	合計
説明は理解できた	9	11	0	20
説明は理解できなかった	0	0	0	0
合計	9	11	0	20



5. ラビング法の説明会に参加されていない方にお伺いします



ラビング法、過半数超53%に浸透



創刊号でお知らせしました、手術時手洗い「ラビング法」を昨年10月から導入致しました。2ヶ月が経過し、アンケート調査をさせて頂きました結果をお知らせ致します。なお今後はスクラブ法も大事にしつつ、ラビング法を継続していきます。

ラビング法は、コストダウンが計れると共に、スクラブ法よりも高い消毒効果があり(納入業者データより)、災害緊急時の断水の時でも対応できることから近年手術手洗い方式の主流となりつつあります。

調査対象者39名中、過半数22名の医師・看護師にラビング法が浸透しており残り17名中14名がアルコールなど消毒液過敏症であったことから目的はほぼ達成できたと言えます。

ラビング法に切り替えて手荒れが増強した職員がいることから、納入業者と共に原因を調査中です。ラビング法説明会に参加された方20名中全員が「理解できた」と回答され、参加されていない方で説明会に参加したいという要望も11名あり、回覧の上、追加説明会を実施したいと考えております。

ラビング法の利点として以下の4点が挙げられます。

1. コストダウン

滅菌ペーパータオル・装置が不要、スクラブ剤が不要、使用する水量が減る、新病院設立に向けては無菌水装置の設備や数多くの手洗い場が不要となるから。

	ラビング法	スクラブ法
納入業者調査	1回約 90円	1回約150円
自施設調査	1回約152円	1回約313円+水道代

2. 手指に優しい

スクラブ剤で何回も洗浄しないため、頻回の手洗いで皮膚の水分をうばうことがないから。しかし、アンケート結果ではラビング法に切り替えて手荒れが増強した職員がいます。これに関しては、納入業者と共に原因を調査中です。

3. 手技が簡単で、時間が短縮できる

速乾性擦式消毒薬で乾燥するまで擦り込むだけであるから。

ラビング法	スクラブ法
約 4 分	約 6 分

4. 消毒効果が高い

・納入業者調査(グローブジューズ法)によると、ラビング法の殺菌効果(持続性)はスクラブ法より高いことを示しています。

・SSI発生率は増加も減少もなく、変化がありません。



認定看護師便り

発行日 1月

第六号

文責 看護部

濱崎弘子